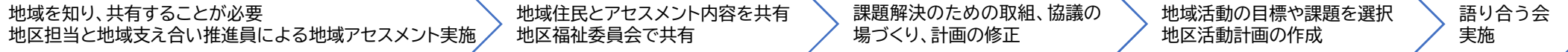
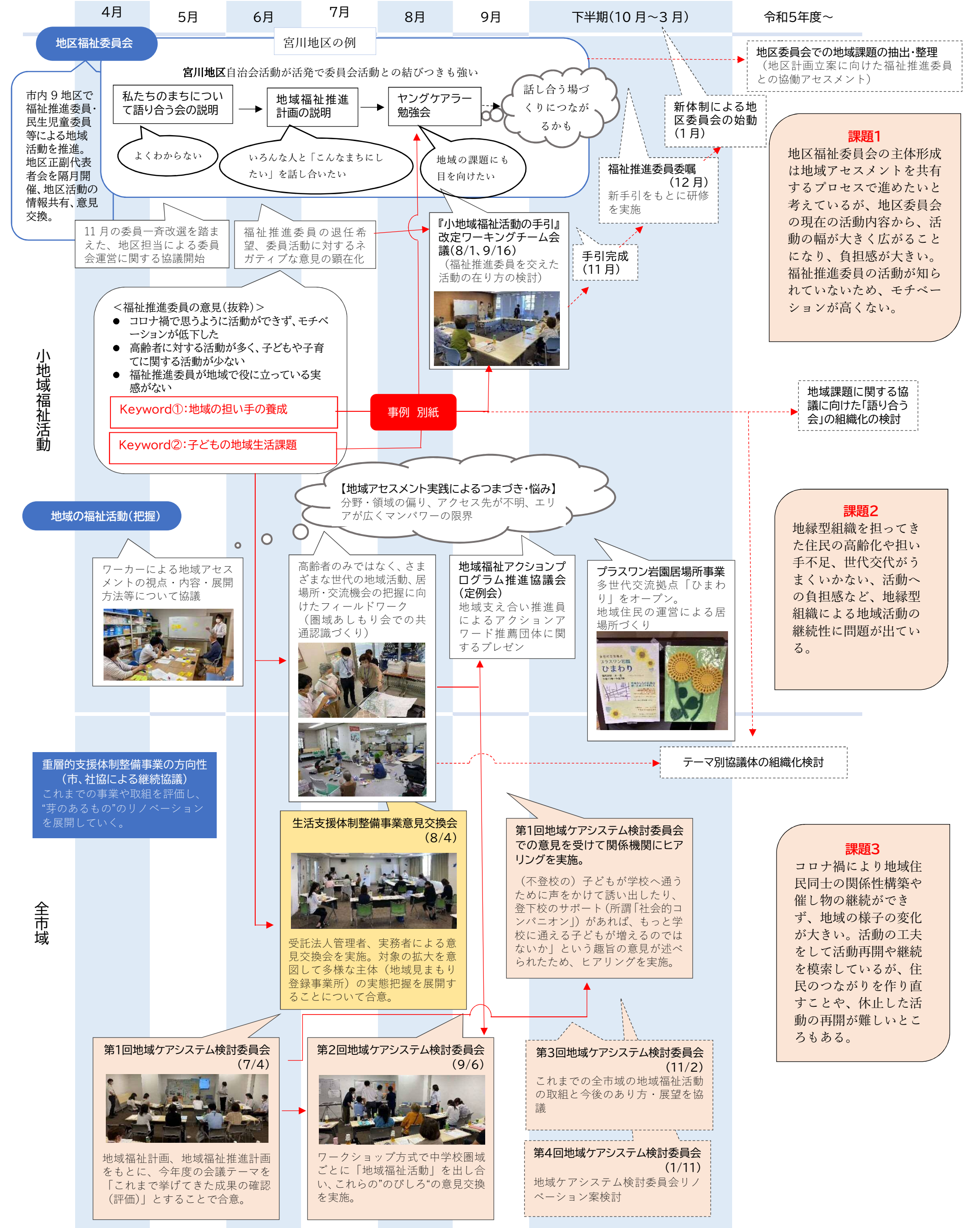


地域アセスメントを実践し、地域福祉活動計画等で地域住民とプロセスを共有し、地域福祉活動の充実をめざします



令和4年度の実践スケジュール



事例: 茶屋之町自治会スマホ講座を高校生と協働

背景

学生ボランティアと地域住民との接点づくりの希望

一人暮らし高齢者の増加、見まもり・安否確認・高齢者同士の交流機会づくりのニーズ

ICTを活用した地域における「新たな見まもり活動」に対する関心



マンツーマン指導



甲南高校ボランティア委員会

芦屋市保健福祉フェアでのパネル展示

芦屋市保健福祉フェアなどでのスマホ講座

コロナにより、部活動や留学などの従来活動が制限される

地域でのボランティア活動ができないだろうか？

甲南高校生の気持ちの変化
・スマホ講座に参加することで、地域づくりにかかわれているという実感がある

ただし
部活動や留学等が通常通り行われるようになると活動が難しくなるかも

社協
アクションプログラム推進協議会 あしや発信局玉手箱PT

相談

茶屋之町自治会

スマホの使い方を住民に知ってほしい

茶屋之町自治会でのスマホ講座

茶屋之町自治会の成果
・月1回のスマホ講座が住民のつどう場になっている
・スマホ講座参加者のlineグループができた
・毎週自主的に集まり復習する場ができた
・教えられるぐらいスキルアップした参加者がいる

地域での水平展開
・朝日ヶ丘集会所イベント
・浜芦屋町自治会

うちの地域でもやってもらえないか？

他の自治会

今後の展望
・他校学生の参入や、受講生が教える側にまわることによるボランティア人材の確保
・さらなる他町への水平展開